

戯曲を読み解く！2023

実際の作品をとりあげながら、戯曲を読み解くための知識を学ぶ、全6回の講座です。
 少人数でじっくり取り組むので、演劇経験者の方はもちろん、初めての方も大歓迎！
 「演劇を観るのは好きだけど、戯曲を読むのは苦手…」そんな方もぜひご参加ください。
 きっと、戯曲の楽しみ方が広がりますよ。

日時
 2023年
 10月18日(水)・19日(木)
 11月15日(水)・16日(木)
 12月13日(水)・14日(木)
 全日程とも 19:00～20:30

対象
 高校生以上
 ※原則として全日程参加できる方

参加料
 一般 5,000円
 高校生～大学生 2,500円

募集人数
 6名
 ※応募者多数の場合は書類選考

申込締切
 10月6日(金) 必着・受信

申込方法は裏面をご覧ください ▶▶▶

オンライン講座です。

本講座は、オンラインで実施します。
 遠方の方も、ぜひお気軽にお申し込みください♪
 ※Zoom アプリケーションをインストールした、インターネット接続が可能なパソコンまたはスマートフォン、タブレット端末が必要です。

講座で扱う戯曲

三島由紀夫「班女」 *『近代能楽集』(新潮文庫刊)所収
 受講生には、事前に書籍をお送りいたします。

参加者の声

ほかの人の意見や感想に触れながら、参加者みんなと一緒に戯曲を読み込んでいくことができ、すごく楽しかったです。

戯曲が一つの建築物のように、一つ一つが欠かせない文章や言葉で作られているのだなと感じました。

一つ一つのセリフやト書きを読み解くということの積み重ねで、演劇作品の見方がだいぶ変わりました。演劇に深く、近づけたのではないかなと思います。

講師

劇作家・演出家
立山ひろみ (たてやま・ひろみ)



1979年生まれ、宮崎県宮崎市佐土原町出身。劇作家、演出家。宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター。パフォーマンス演劇ユニット「ニグリノード」主宰。大学卒業後、劇団黒テントに所属し佐藤信、山元清多らのアシスタントを経て演出家デビュー。同劇団を退団後、自身のユニットを立ち上げ、言葉に偏らず、身体表現や音楽など舞台芸術の諸要素をセリフと等価値に扱い、表現の可能性を模索している。主な作品に、宮崎県立芸術劇場プロデュース「新かぼちゃといもがら物語」「たのかんさあレンジャー」(作：成井昭人)、『幻視～神の住む町～』(作：シライケイタ)、『神舞の庭』(作：長田育恵)、『火球』(作：桑原裕子)、日生劇場ファミリーフェスティバル2019・2021 音楽劇『あらしのよるに』、オペラシアターこんやく座 オペラ『ルドルフとイッパイアッテナ』、劇団うりんこ『アリス』、デフ・パペットシアター・ひとみ『河の童一かわのわっぱ』など。各地でワークショップなども行う。

9月以降の「アートな学び舎」講座ラインナップ

カラダで味わう 物のかたち・街のかたち

9月23日(土)・24日(日) 両日とも14:00-16:00

会場：高鍋町美術館 多目的ホール

壁、椅子、階段……私たちの身の回りにある、たくさんのかたち。

講師のアグネス吉井のお二人と一緒に、カラダであそんでみませんか？

参加者募集中！

お申込みは
9/8(金)まで



講師：アグネス吉井

「聴く」から「書く」まで～おしゃべりから始める文章術

10月14日(土)・15日(日) 両日とも14:00-16:00

会場：宮崎市民プラザ 中会議室

編集者・ライターとして活動されている大堀久美子氏を講師に、

“聴く”から“書く”までを、おしゃべりを楽しむ感覚で学ぶワークショップです。

8月末頃から
募集開始します！

詳細につきましては、随時劇場 HP・チラシでお知らせします。

応募方法

<戯曲を読み解く!2023>

下の申込み欄に必要事項を記入のうえ、郵送またはFAXにて下の申込先までお送りください。
宮崎県立芸術劇場のHP(QRコード)からもお申込みいただけます。

お問合せ・お申込み先

公益財団法人宮崎県立芸術劇場
企画広報課「アートな学び舎」係
〒880-8557 宮崎市船塚3丁目210番地
TEL: 0985-28-3208 FAX: 0985-20-6670
URL: <https://miyazaki-ac.jp>



(キリトリ)

「戯曲を読み解く!2023」申込書

※この用紙はコピーしてご利用いただけます。
※ご応募いただいた個人情報は本事業にのみ使用します。

(ふりがな) お名前	性別 ※性自認を含む	年齢 歳
〒 現住所	職業または学校名 (年)	
電話または携帯番号	Eメール ※必須	
保護者の承認 (高校生の場合)	申込を承認します。 保護者氏名 印	申込者との 続柄
応募動機		